



## 2025年度もどうぞよろしく申し上げます

中学1年生の皆さんはご入学おめでとうございます。新年度が始まり約1ヶ月過ぎましたが、新しい環境にもそろそろ慣れてきたころでしょうか。中学2年から高校3年生の生徒諸君も学年が改まり、各自の目標に向けて日々頑張っていることと思います。中学2年生以上には改めて説明の必要はないと思いますが、新入生を迎えましたのでこのグローバル通信について簡単に説明します。教室で学習する国語・数学といった教科の枠を超えて興味関心の種を蒔くことを目的として不定期で発行するささやかな刊行物です。在校生及び保護者の皆様には校内のシステムを使い情報を共有します。グローバルという切り口で国内・海外のイベントの紹介や実際に経験した生徒の感想などをお届けします。同じ学校で学ぶ学友から刺激を得て、自らの学びにも結びつけていただきたいとの願いを込めて作っております。

グローバル教育部は2号館2階に小さな職員室があります。グローバル通信発行以外に帰国生との面接、海外大学出願の支援で何か相談があれば訪ねてきて下さい。部長の岡崎（英語科 火曜研究日）と副部長大平（英語科 木曜研究日）が常駐しています。両名とも授業もあり、日によっては放課後に会議・講習等もあるため、ある程度まとまった時間が必要な相談の場合は事前にアポを取ることをお勧めします。

## 海外大学進学相談室について

昨年度より海外大学進学相談室が開設されました。2号館1階の保健室の向かい側にオフィスがあり、ガイダンスカウンセラーの中山莉彩先生が相談に応じて下さいます。ご自身もアメリカの大学で学ばれたご経験があり、海外事情にも明るい先生です。中山先生の勤務は原則月曜と木曜となります。相談室の利用は中山先生に直接アポイントを取る形になります。希望する場合は [nakayama.risa@kaijo.ed.jp](mailto:nakayama.risa@kaijo.ed.jp) に直接メールをしてください。保護者・生徒いずれからの質問にも応じて下さいます。

ご相談内容によってグローバル教育部、海外大学進学相談室のどちらに行ったらよいのかお困りになるかもしれません。いくつか事例をお示しします。必要に応じて担任、学年、教務部、事務室などと連携して取り組んでまいります。

◎グローバル教育部へお声がけ下さい。

### ケース1

中高を問わず在学中に保護者の海外転勤が決まり、本校から現地の学校に学籍が変更になるに当たり、出発前に校内でどんな手続きを取ったらよいのか知りたい。

#### ケース 2

高校生で外部団体を通じて1年留学に行くことになり、団体から英文の成績証明書や推薦書が必要だと言われたがどのように用意したらよいか知りたい。

#### ケース 3

高校3年生で海外大学を受験することを志しており外部団体が主催する奨学金プログラムに応募するのに必要書類は学校を通じて提出しなければならないがどうしたらよいか知りたい。

#### ケース 4

高校3年生で海外大学を受験することを志しており、数名の先生から推薦書を書いていただく必要があるが、どのように準備したらよいかを知りたい。

◎海外大学進学相談室へお声がけ下さい。

#### ケース 1

海外大学を目指すかまだ漠然とした状態だが、仮に海外大を目指すとなると具体的にどのような準備が必要になるのかを知りたい。

#### ケース 2

アメリカで「リベラルアーツ」と呼ばれる大学があると聞いたがどんなことが学べるのかを知りたい。

#### ケース 3

自分が専攻したいと思っている学問分野（気候変動、貧困対策、災害支援など）が日本の大学に設置されている学部では十分に学べないような場合、海外ならどのような大学で学ぶのがふさわしいのかを知りたい。

#### ケース 4

海外大学で学ぶには学費が高額と聞いたが日本を拠点とする財団によって運営される奨学金以外にどのような可能性があるのかを知りたい。

## 2024年度海外大学受験結果について

2024年度の本校の海外大学受験結果は以下の通りです。

Arizona State University

Colgate University

Grinnell College

McGill University (カナダ)

Michigan State University

Pomona College

The University of Edinburgh (スコットランド)

The University of Illinois, Urbana-Champaign

## The University of Toronto (カナダ) 3名 Vassar College

24年度は3名の生徒が日本の大学と併願しながら海外大学へ挑戦しました。一人が複数の大学から合格をいただくこともあり、ご覧の通り総計は増えます。エジンバラ大学については学部進学前の約1年間の基礎コースであるファウンデーションコース合格を意味します。これまでアメリカの大学から合格をいただくことが多い中、エジンバラ大学やマギル大学など初めて合格をいただく大学も出てきました。日本と海外では受験勉強の中身も全く異なるため、複数パターンの準備をする必要があり時間的ハンディがある中で両立したのは見事としか言いようがありません。3名とも本校の授業を中心に学校行事や課外活動にも熱心に励んでいました。後輩の生徒諸君も後に続いてほしいと願っています。

報道でご存知の方も多いかと思いますが、アメリカの有力大学については政権側の意向で国からの補助金が大幅に削減されることになり、一部大学は一方的な決定に対して不服を表明して訴訟へ持ち込む決定をしています。この動きは日本を含めてアメリカ以外から出願する受験生にとっても少なからず影響を及ぼすと思われます。25年度の出願はアメリカ以外の国も検討するなどこれまでと違う対応が求められるかもしれません。

## カナダ短期留学帰国報告

本校ではやや長めの期間の留学に挑戦したいという高1～高2の生徒を対象に3ヶ月弱のカナダ短期留学を実施しています。今年は1月6日～3月18日に実施され5名の生徒がカナダアルバータ州のエドモントンでホームステイしながら地元の高校で学習しました。2回に分けて参加者から寄稿してもらった原稿を掲載します。今年度申し込みを検討している生徒諸君はぜひ参考にしてみてください。



## カナダ短期留学を終えて

高校2年4組 安達 響

あっという間だった、というのが正直な感想です。十分長いだろうと思っていた10週間も、今になって思えばとても短い。まだやり足りないことがいっぱいあるな、とつくづく思います。と同時に、この10週間は私にとって一生の財産になると確信しています。

この留学の前後で変化したことは主に二つあります。

一つ目は、英語力です。海外経験がないに等しかった私は、教科書レベルの英語にしか触れたことがありませんでした。カナダでの10週間は、スラングをはじめ英語に振り回された日々でした。しかし10週間でも思いのほか慣れてくるもので、最後の数週間は拙いながらも英会話が成り立っていました。以前は吹替派だった洋画鑑賞も、今では字幕表示、もしくは字幕なしで観るようになりました。

そしてもう一つは、積極性です。言語も通じない、見知らぬ環境で一から友達を作るのは初めての体験で、最初の頃はそれなりの勇気を要しました。ところが、共に時間を過ごしているうちに話しかけられることも増え、いつの間にか仲が深まっていました。それからは積極的に話しかけることも多くなったと感じています。今度は私が、場に馴染めていない人たちに話しかけられるようになりたいです。

もしもまたカナダに行けるなら行きたいかと聞かれたら、迷わず行きたいと答えると思います。この10週間で経験したことはこの先間違いなく活かされるし、何よりここで得られた繋がりは私にとっての宝物です。次また彼らに会えた時には、ありがとうと伝えるつもりです。



## カナダ留学で得たもの

高校2年1組 瀨本 晃大朗

私はこの10週間のカナダ留学を通じて、特に「友達の大切さ」を実感しました。留学当初の私の目標は、友達を「たくさん」作ることでした。最初はできるだけ多くの人と仲良くなろうと努力しましたが、どのように話しかけていいかわからず、すぐに深い関係を築くことは難しく感じました。結局、友達と言えるような人は一人だけでしたが、彼女とはとても親密になれました。彼女とは授業で隣の席になったことがきっかけで話すようになり、次第に共通の趣味や好きな音楽の話題で盛り上がるようになりました。昼ごはんを一緒に食べたり、放課後に家で遊んだりするうちに、お互い「親友」と言えるような関係へと発展しました。私の英語が不自然でも彼女は一生懸命聞いてくれ、分からないことがあれば優しく教えてくれました。彼女と一緒にいる時間は、私にとってかけがえのないものとなりました。

また、彼女の姿勢から多くのことを学びました。彼女は授業中も積極的に発言し、時には間違いを指摘されることもありましたが、「また間違えちゃったあ」と笑い飛ばしていました。その姿を見て、間違えることは恥ずかしいことではなく、むしろ学ぶために必要なことなのだと気づきました。それ以来、私も間違いを恐れずに発言し、指摘を前向きに受け止めるようになりました。

さらに、私は彼女に過去の辛い経験を打ち明けたことがあります。少し嫌われるかもしれないと不安でしたが、彼女は「辛かったよね」と優しく受け止めてくれました。彼女の存在があったからこそ、私は自分を受け入れ、自信を持つことができるようになりました。ありのままの自分を受け入れてくれる人がいることが、どれほど心強いことかを改めて実感しました。

この留学を通じて、「知り合い」は自然に増えても、「友達」は自分から動かないとできないということを学びました。最初は多くの人と関わろうとしましたが、結果的に心から信頼できる一人の友達と深くつながれたことが何よりの収穫であり、財産でした。多くの人と仲良くなるのが重要なのではなく、本当に大切な関係を築くことが何より価値のあることなのだと実感しました。

長いようで本当に短かったこの10週間の留学生活は、かけがえのない経験でした。最初は不安や緊張もありましたが、今振り返ると本当に充実した時間を過ごせたと思います。この経験を通じて得た学びを、これからの人生に活かしていきたいと思います。



## 高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会東京都予選大会のお知らせ

上記大会の予選会が10月に実施されます。都道府県ごとの予選に続き、11月の決勝予選（関東地区）・決勝大会（全国）へとつながります。参加にはいくつか条件がありますので公式HPより以下抜粋します。我こそはと思う中学生は是非挑戦してみてください。

主催：読売新聞社、日本学生協会(JNSA)基金

実施要項：

① 予選期日 2025年10月4日(土) 午前9時00分

② 会場 赤坂区民ホール(東京都港区赤坂 4-18-13 赤坂コミュニティーぷらざ 4階)

③ 参加資格

(1) 東京都内の中学校またはそれに相当する中学校に在籍する生徒で、学校長が推薦した者。ただし、下記(a)～(d)に該当する者は参加できない。当該学校長が推薦の際、事実関係を確認の上、下記(a)～(d)に抵触しないことを証するものとする。

(a) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6か月以上、英語圏(\*)に居住した者。

(b) 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または教育科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6か月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。

(c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(\*)出身の者がいる場合。

(d) 過去に本大会の中央大会にて1位～3位までに入賞した者。

(\*) 「英語圏」とは、英語を(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は右記の高円宮杯ホームページを参照のこと。

<https://jnsafund.org>

④ 応募形式

(1) 大会ウェブサイト上の参加申込フォーム(<https://jnsafund.org/appform/>)の必要事項を記入し、弁論原稿を添えて提出。また、学校長推薦状・肖像権等同意書を高円宮杯事務局に郵送。

(2) 論題：自由

弁論内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。ただし、今年度の高円宮杯関連大会で発表したものはこの限りではない。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現で明示する。生成AIにより作成された弁論では応募できない。これらに違反した場合、失格とする。

(3) 制限時間：5分(超過した場合は減点とする)

(4) 著作権：東京都大会参加生徒の弁論の著作権は主催者に帰属する。

(5) **参加は各学校1名までとする。**

⑤ 締切期日 2025年8月22日(金)必着

⑥ 提出先 〒100-8055 東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞東京本社内 高円宮杯事務局  
Tel 03-3217-8393(平日午後1時～午後6時)、Fax 03-3217-8358

⑦ 参加費 なし(ただし、事務手数料として140円切手3枚)

＊校内申し込み

要項④(5)にある通り参加できるのは「1校から1名まで」との条件があります。参加希望の生徒はA4用紙にクラス・番号・氏名・志望動機・英検等の資格を書き（手書き・PCどちらでも可）、5月17日（土）午後13時までにグローバル教育部まで申し出て下さい。2名以上の応募があった場合は何らかの方法で選考を実施します。

詳細は公式HPを参照の上、参加資格等をご確認下さい。

東京都予選大会詳細情報

<https://jnsafund.org/ptt/wp-content/uploads/2025/03/%E3%80%9077%E5%9B%9E%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%80%91%E9%83BD%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E9%96%8B%E5%82%AC%E8%A6%81%E9%A0%85%E6%A1%88.pdf>

全日本大会詳細情報

<https://jnsafund.org/ptt/wp-content/uploads/2025/04/%E7%AC%AC77%E5%9B%9E%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E9%96%8B%E5%82%AC%E8%A6%81%E9%A0%852025.4.3.pdf>



(大会公式HPより転載)